



学校だより

根っこ

倉敷市立万寿東小学校

第160号

令和4年12月

12月に入って、気温が下がり寒さが厳しくなっています。校庭のケヤキの木もほとんど枝だけとなり、冬支度が整ってきました。そうした中でも、子ども達は、体育や休み時間など外で元気に運動したり遊んだりしています。早いもので、2学期も残り10日あまりとなりました。感染症の流行も心配な時期ですので、基本的な対策を取りながら、元気に学期末が迎えられるようにしたいと思います。

先日、校内の畑では、6年生やなかよし学級の子も達が、みずみずしい大根を収穫しました。種まきから草取りの世話などを続け、育ててきました。大人の足位の太さのもの、2本に分かれたもの、少し曲がってユーモラスな形をしたものなど、個性豊かな大根たちでした。学校ボランティアの方々にもお渡しをし、喜んでいただきました。

冬場はエアコンを使った暖房が主になりますが、換気のため窓を開けます。登下校時のマフラーや手袋などの防寒対策と室内で足元などが冷えないようひざ掛けなどのご準備を子どもさんの体調に合わせてお願いします。また、ご家庭でも適切な運動・食事・休養に心掛けるようご協力をお願いします。マスクの着用については、活動場所や活動場面に応じたメリハリのある着用が行われるよう指導や声を掛けていきます。具体的な場面については、保健だよりをご覧ください。給食時間については、机の向きや換気、大きな声で話さないことなど、感染症対策やマナー、衛生面などに配慮した指導を行っていきます。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

先週までの2週間、校内のなかよし週間でした。「違いを認め、一人ひとりを大切にすること」をねらいに、各クラスで決めためあてをみんなで守れるよう取り組みました。また、教育相談時間を設けて、担任が子ども1人ずつと話をしました。日常生活の中では、思いがうまく伝えられず相手を傷つける言葉を言ってしまうたり、相手の言動で嫌な思いをしたりすることなどもあります。私たち教職員も人権感覚を鋭くし、きちんと指導したり、子どもの気持ちに寄り添ったりしながら、丁寧に迅速に対応していきたいと思っています。学校からもご連絡をさせていただきますが、何か子どもさんのことでお気づきのことや心配なことがありましたら、ご相談ください。

放送朝礼では、けやっきーも登場しました。



来週は、個人懇談を予定しています。限られた時間ではありますが、2学期に頑張った事や学校での様子、今後よりよくするためにお伝えしたいことなどお話しできればと思います。お忙しい時期ですがよろしくお願いいたします。

【学芸会】

私は、今年の学芸会は、どの年よりもうまくいったと思います。理由は、私たちが一生けん命力を合わせて練習をしたからだだと思います。体育館練習が始まって、最初は場所を覚えるのに必死でした。だけど、くり返すうちに場所移動もすんなりとできるようになり、演奏できる時間がふえていきました。4年生の学芸会は、音楽と決まっているので、その伝統を守るために、つらくても一生けん命に家の人をよろこばせるために練習を続けました。休みの日でも映像をとって先生に送ったり、毎日楽器を持って帰ったり持って行ったり。重かったけど、これでうまくなるんなら、だきようはしたくないという思いがあったおかげで、どんどんうまくなりました。私は、村人達のおしゃべりでは、テナアコーデオンを担当したのですが、仲間といっしょに先生に教えてもらったり、みんなでいっしょに合わせたりしたから、満足する学芸会になりました。演奏とは別に、せりふがありました。学年目標に関する大事なせりふなので、大きな声で言わなければなりません。だけど、私は大きな声を出すのが苦手でした。お兄ちゃんは大きな声が出せるのに、なんで私の声は小さいんだろうとなやんでいました。だけど、練習を重ねていくにつれ、大きな声が出せるようになりました。そして、本番、感覚では、今までで一番大きな声が出せたと思いました。このように、たくさんの努力を積み重ねてきたからこそ、私が満足できる学芸会を行うことができました。これに満足せず、5年生に向かってもっと努力して5年生でも満足できる学芸会にしたいです。(4年 井上 百華)

私は、学芸会でエンターテイナーとなり、おうちの方に5年生で学んだことを楽しく伝えました。10月31日から学芸会本番までの期間、リーダーを中心に練習をしました。子ども達だけで全て考えるのはむずかしかったけれど、担当の先生からアドバイスをいただきながら計画を立てました。休み時間も、教室や中庭、体育館で練習をしました。ついに、本番。「笑ってくれるかな。成功するかな・・・」いろいろなことを不安に思いました。しかし、意外と楽しく進み、自分のグループ発表も成功した気がしました。おうちの方の笑顔や拍手を聞くことができうれしかったです。この学芸会は成長につながったと思います。そして、残り数か月の6年生への道も「全力前進」していきたいと思いました。(5年 松岡 那南)



「みんなでちからをあわせた学げいかい」学げいかいで、きんちょうしたけど、こころをあわせてみんなといっしょにがんばってえんそうしたり、せりふをいったりすることができたのが、一ばんうれしかったです。(1年 石田 夏帆)

ぼくは、コンパスでつくったカードをまわすのをがんばりました。カードは、黄色とむらさき色をこくぬりました。手がかれたけれど、がんばりました。ぼくのせりふがおわったとき、やっとパパとママが見つかりました。がんばったごほうびに、シナモンロールのアイスクリームパーティーをかってもらいました。おいしかったです。(3年 吉田 莞大)

ぼくが、学げい会でうれしかったことは、2つあります。1つ目は、「青い空に絵をかこう」で、きれいに歌が歌えてうれしかったことです。とくに、「あしたは」と「エイヤ」でわかれるところの「あしたは」のところが、きれいに歌えました。2つ目は、おうちの人が見てくれたことです。なぜうれしかったかという、おうちの人に見てもらって、自分がれんしゅうしたぶんだけはきできたからです。だから、うれしかったです。つぎの学げい会でも大きな声でがんばりたいです。(2年 狭間 暁翔)



今日の朝ぼくは、きんちょうしてカチンカチンになった。学校に着いて用意をした後は、もっとカチンカチンになった。体育館に入り、学芸会が始まった。ぼくは、28番目にせりふを言う。一番二番三番と言う人が言っていく。とうとう27番目の人がしゃべり終わった。ぼくは、大声をはりあげてしゃべった。「しぜんにあいたあなではなく、ドアのかぎのように四角い金具がみきについていて、そのまん中にまるいあながあるのです。」と。言うことは終わったが、まだすることがある。ぼくは、こん虫部たいだから、こん虫ダンスをして、その後リコーダーのブラックホールをふく。二つとも終わった時は、とてもうれしかった。家に帰って、お父さんやお母さんに何と言われるか楽しみになった。(3年 岡田 伊布生)

学芸会の自分のせりふや動きを考える時に工夫したのは、伝えたいことが分かりやすく伝わるようにしたことです。「北守将軍と三人の兄弟の医者」の劇の中の最後の一言である「人間を救うことも、動物を救うことも、植物を救うことも、同じように大切だった。」というせりふは、この物語を通じて宮沢さんが一番伝えたかったことだと思ったので、遠回しでなく、率直に伝わるようなせりふにしました。自分の演技では、その役に入りこむことを意識しました。私は、医者役でしたが、医者が言うせりふがあまりなかったので、動きで意識しました。自分が医者だったら、ぼろぼろになった将軍が来た時どう思うかなと想像しながら動きました。学芸会を終えて、本番の時に、みんなで声を合わせる所が、いつもより一体感があって、ひとりひとりの思いが強くなっているんだなと思いました。また、私が、この学芸会で学んだことは、言葉で伝えることの大切さです。同じ意味の言葉でも、飾りをつけたり、少し言い方を変えたりするだけで受け取り方が変わってきます。自分の気持ちがちゃんと伝わるような言葉を選びたいなと思いました。去年の学芸会では、動きや表情で伝えることを学んだので、それも取り入れ、「伝える」ことをもっと大切にしたいです。(6年 安藤 珠梨)